

しらたか

かわりな

花和里菜 通信

夏至号 Vol.5

平成26年6月18日

白鷹町ふるさと応援制度
事務局発行



がまずみ

しらたか^{かわりな}花和里菜通信では、白鷹町^{しらたかまち}ふるさと応援制度にご寄付いただいた方にお贈りする特産品について特集します。

「花和里菜」とは、ずっと変わらない味、おかわりしたくなるもの、「かわりないがー？（元気であるか？）」と田舎から尋ねる母の言葉、白鷹町の里に咲く四季の花や野菜をイメージして、白鷹の旬な話題をお届けするものです。

米沢牛

白鷹町ふるさと応援制度が平成20年度からスタートし、特産品の一番人気を守り続けています。



生産者 丸川 大介さん

「良い米沢牛を育てることに毎日手間ひまかけて管理しています。牛は繊細な動物なのでストレスで肉質が落ちたり、思った通りの霜降りにならなかったりします。寝床をきれいに整えたり、ブラッシングをして毛を整えたりと牛にとって気持ち良い環境作りも私達の大切な仕事の一つです。今、白鷹町では500頭ほどの牛がいますが、皆、一頭一頭愛情を込めて育てています。」



好奇心旺盛だけど臆病なんです

花笠【しらたか人形】

白鷹町深山地区住民の手で守り継がれた深山和紙を、水で濡らして丹念に揉み上げてできる「しぼ」が独特なぬくもりを醸し出し、県の花「紅花」をあしらった笠を持つ優しい色合いの人形です。白鷹町は紅花の生産量が全国1位。7月12日(土)から13日(日)には白鷹町紅花まつりが開催されます。

桜と紅花のブローチ



白鷹人形研究会

「花笠まつりをイメージして一つひとつ手作りして作っているので、動きや表情が微妙に違います。山形のお土産としても人気です。今年は白鷹町の樹齢500年以上の古典桜をイメージした桜のブローチや紅花のブローチを制作しました。四季の移ろいを楽しめる白鷹にぜひいらしてください。」

1万円以上のご寄付1件につき特産品を1品お贈り致します。

